

令和5年度 第2回能勢町子ども・子育て会議
～議事録～

日 時：令和5年12月7日(木)14:00～15:00

会 場：保健福祉センター 集団指導室

出席者：樺山会長・村本副会長・細川委員・宇佐美委員・木村委員・八木委員・
三浦委員・永井委員・的場委員・牛島委員

【計 10 名】

欠席者：大倉委員・山本委員・齋藤委員

【計 3 名】

傍聴者： 1 名

事務局： 福祉部 寺内部長・和田課長・菊池課長・上森係長・村角主事
教育委員会 百々教育次長・川本課長・松田課長

次 第： 1. 開会

司会：和田課長

2. 議事

議長：樺山会長

① 次期能勢町子ども・子育て支援事業計画策定のための
ニーズ調査の実施について

② その他

3. 閉会

司会	<p>それでは定刻となりましたので、令和5年度第2回能勢町子ども・子育て会議を開催させていただきます。</p> <p>私は、本日の進行を務めさせていただきます、福祉課長の和田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>皆様方におかれましては、ご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。それでは、会議の開催に当たり、樺山会長に一言ご挨拶をお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>皆様こんにちは。</p> <p>寒い中ですが、体調大丈夫でしょうか。私は阪大の保健学科出身なんですが、阪大の保健学科開設30周年記念式典が、今週末9日でございます。能勢からもご出席いただけるということで、大変楽しみにしております。</p> <p>ちょうど30年の節目に講演する機会をいただいたので、これまでのことをいろいろと振り返っておりましたが、やはり今思い返すと先生たちの思いとか、ご苦労とか、こういう考えでご指導くださったとか、この立場になってやっと分かるようになってきたところがあります。</p> <p>やはり出身のところに愛着とか誇りを持つということは、その後の地域の発展にもすごく大事なことだと感じております。</p> <p>能勢町のこれからを考えたときに、子どもたちが能勢町に愛着を持って、ここで過ごしてよかったなっていうようなまちづくりを考えていければと思っております。</p>

	<p>本日はニーズ調査の議題がメインとなりますが、いろんな計画も策定して、それを達成していくわけなんですけども、客観的な数値を集約して、皆さんの声を拾って、より充実させていくための有意義な計画を作っていければと考えております。</p> <p>本日は少しでも実りのある話し合いになればと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、案件に入ります前に事務局よりご説明をさせていただきます。</p> <p>本会議につきましては会議録を作成し、公開することとなっておりますので、委員の皆様にご了承いただきたいと思っております。</p> <p>次に、配付資料の確認をいたします。</p> <p>あらかじめお送りしております事前配付資料として6種類ございます。</p> <p>資料1、次期能勢町子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査の実施について。こちら、A4両面1枚ものになります。</p> <p>続きまして、資料2は就学前児童用のニーズ調査の調査票になります。</p> <p>続きまして、資料3は就学児童用の調査票でございます。</p> <p>続きまして、資料4が、次期能勢町子ども・子育て支援事業計画のニーズ調査項目一覧。</p> <p>続きまして、資料5が、ニーズ調査票項目の前回からの変更箇所一覧。こちら就学前のものが資料5になっております。</p> <p>それから資料6としまして、こちらは就学児用の変更箇所一覧の資料ということになっております。</p> <p>こちらの資料6までの6種類になりますが、それに加えて、当日配布資料といたしましてお席の方にお配りさせていただいております、第2回子ども・子育て会議の次第、それから委員名簿、そして参考資料として冬休み元気ひろばのチラシを置かせていただいております。</p> <p>計3種類配付させていただいておりますが、過不足などがございましたらお知らせいただければと思っております。</p> <p>よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>それではお手元の委員名簿をご参照ください。案件に入ります前に本日の欠席委員についてご連絡いたします。</p> <p>本日は能勢ささゆり学園の山本委員。豊中高校能勢分校の齋藤委員。</p> <p>それから大阪府子ども池田家庭センターの手島様につきましては欠席ということでご連絡いただいております。</p> <p>あとボランティア団体代表の大倉様につきましては、今のところ欠席のご連絡はありませんので、遅れての参加ということになるかもしれません。</p> <p>定足数である過半数には達しておりますので、このまま会議の方を開かせていただければと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは案件に移ってまいります。</p>

	<p>これよりの議事の進行につきましては設置条例第 6 条の規定により、榊山会長にお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>それでは、案件 1。次期能勢町子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査の実施について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局（福祉課）	<p>（資料説明）</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。 しっかり読まないとなかなか難しいところもあると思っておりますので、じっくり読む時間を取りながら進めさせていただきたいと思っております。 まずは事務局より説明がありましたが、質問などありましたらよろしく申し上げます。</p>
事務局（福祉課）	<p>書類を確認いただいている間に、修正と補足の説明をさせていただきます。 まずは修正箇所ですが、資料 2 の 8 ページ、問 18-1 の設問で「幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用しない理由は何ですか」とありますが、その右側が問 17 ではなく、正しくは問 20 となります。 次に補足としまして、資料 1 の調査票封筒の配布回収について、現在所属を通じての配布、郵送による回収ということで想定はしておりますが、現在、計画策定業務の委託業者は調整中でございます。 調整がつかましたら、こちらに Web による回答も追加させていただけたらと考えております。 また、調査票ですが、こちらの内容は、平成 30 年に実施した調査票をベースとして、大阪府から提供いただいているひな形を参考に、文言の修正等が多くを占めますが、中でも大きく内容が変わっているところを、説明させていただきます。 先ほど説明した問 18 のところですが、この問 18 と 18-1 は前回調査では削除しておりましたが、問 18-2 で施設を定期的にご利用されている想定の説明になっていたため、この上二つを削除させていただいております。 今回の調査では、利用されていない理由についても調査をさせていただくため、府のひな形のとおり追加しております。 あと問 33、21 ページについて、前回から質問の書き方が若干変わっております。 前回調査時は「実際にお金の事情で家族以外に見てもらわないといけないことがありましたか」という設問でしたが、今年度は「預ける必要があると思いませんか」という想定の問題に変わっております。 続いて 27 ページ。問 47 と 47-1、この二つは新設になりまして、多子世代若しくは多胎児の方に関して、どのようなサービスが有効であるかというような設問を、今回新たに追加させていただいております。</p>

	<p>就学児童につきましてもおおむね文言の修正というところと、多子・多胎児世代についての設問というところを同じように追加させていただいております。補足については以上になります。</p>
事務局（福祉課）	<p>合わせて補足になりますが、今回の調査、この資料5・6のように、あくまでも前回調査後の経過も把握する目的で、基本的には前回の調査を踏襲しつつ、今回新しく追加された設問がございます。</p> <p>大阪府で調査票のひな形を各市町村宛に準備しており、大阪府でも市町村計画とは別で、子ども子育てに関する計画をまとめていく、大阪府の計画に沿った形で、市町村も計画は取りまとめていくこととなりますので、大阪府から出されている調査票も参考にしながら、かつ前回は踏まえて調査票を作っていくという形で今回作成をしております。</p> <p>前回の調査との整合性、それから大阪府の調査との整合から、今回の案を出させていただいております。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございます。</p> <p>少し追加でお伺いしたいのが、能勢町独自で聞いている項目はあるのでしょうか。</p>
事務局（福祉課）	<p>今回独自の設問自体を追加しているというものはありませんが、11ページの問19-4の中で1番から10番までの回答の中、4番については、町独自で追加している項目になっております。</p> <p>こちらは前回も独自で追加していた部分にはなりますが、そもそもサービスをご存知ない方がいらっしゃるのではないかとこのところでも回答に追加しております。</p> <p>また、最初の問1になりますが、お住まいの地域はどちらですかという問いに対して、本町に対応した形で、今の旧小学校区はどちらですかという質問に変更しております。</p> <p>あとは、8ページの18-2。こちらでも現在どのような施設やサービスを利用していますかというところに関しては、選択肢としては基本的に1番から12番まで書いておりますが、この施設やサービスの説明、あるいは能勢町内の施設ということで、具体的な形で表示をしております。</p> <p>具体的にのせ保育所や子育て支援センターなど、該当する施設を記載しており、基本的には府の様式を参考にしつつ、能勢町に合わせた形で修正を加えております。</p>
会長	<p>おそらく経年比較もできるよう、府の計画を踏まえての検討になるので、そんなに大きく変えるって方向ではないかと思えます。</p> <p>日頃、調査とかに慣れておられる委員ばかりでもないかと思えますし、具体的に項目を分けて中身を丁寧に見ていきたいと思えますが、よろしいでしょうか。</p> <p>答えにくそうだとか、こんなふうにしたらいいかもしいかな等、何か</p>

	<p>ありましたら本当に忌たんのないご意見をよろしく申し上げます。</p> <p>資料 2 の就学前児童用調査票から、まずは家族構成や保護者の働いている状況などが 5 ページまでありますが、この中の何か気づくことや、この持ちたいと思う思わない、という今回の表現は、府が修正されたのに沿ったということでしょうか。</p>
事務局（福祉課）	おっしゃるとおり、府の調査票修正に併せて、町も修正しております。
副会長	<p>問 11-1 の回答の 6 番について「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」の記載が少し分かりにくいと思います。“か”なのか“が”なのかで、意味が変わってくるのではないのでしょうか。</p>
事務局（福祉課）	「ふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある」という意味になるかと思います。「あるかどうか」という形で言葉を一言、入れさせていただきます。
委員	対象児の数は、町内の全てのお子さんが対象ということですが、子どもが 3 人いたら調査票が 3 通来るということでしょうか。
事務局（福祉課）	<p>年齢に応じて、それぞれのお子様に対しての調査になりますので、個人に対しての送付という形になります。</p> <p>現状では、就学前児童が 180 人前後、就学児が 260 人前後になるかと想定しております。</p>
委員	<p>記入する親の立場になると、ものすごい大変だと思います。</p> <p>負担をなるべく軽減するために、ウェブ回答を設けようとしてくださってることは、非常に素晴らしいことだと思います。</p> <p>ただ、ウェブ回答であっても同じ内容を入力すると、多分 2 人目でもうやめようかなってなると思います。</p> <p>例えば、兄弟でおおむね同じになりそうな情報は、統一できるような回答用紙があれば、通し番号をつけといて、何々番と同じですみたいな感じで記入できると良いのではないのでしょうか。</p> <p>前回は感じたことですが、これだけ大変な回答をちゃんと真面目に 50%位、若しくはそれ以上の方が回答して下さるって、ありがたいなと思うんです。</p> <p>恐らく意見を出せば、何か変わってくれるかもしれないと思って、一生懸命書いてくださるんですけど、多分 3 人は書けないんじゃないかなと思います。</p> <p>小学校と園児であれば、内容も違うので、書こうかなと思いますけど、2 人目の園児とか多分めっちゃくちゃ大変だと思うんです。そこを少しでも軽減できるようにできればと思います。</p> <p>なかなか情報をつなげてしまうと特定できてしまう、とかいろいろ配</p>

	<p>慮する部分も出てくるかと思いますが、ウェブ回答を含めて、もう少し答えやすくできないかなとか、その辺りは業者さんと調整する感じになるんでしょうか。</p>
事務局（福祉課）	<p>今時点で、業者の選定に当たっておりますが、この時期いろんな業者さんが、各事業計画等と時期が重複するということもあって、なかなかすんなりと決まっていけないのが実情です。</p> <p>可能性としては対応可能な業者が見つければ、速やかに選定して調査票の発送から委託したいと考えております。</p> <p>もし、それが難しい場合は町の方で調査票を印刷して、返信用封筒を入れて紙で発送せざるを得ない可能性もあると考えております。</p> <p>可能であれば、業者の方に委託してウェブフォーム等を作成し、回答できる方が、やはり負担は減るのかなというふうに思っておりますが、なかなか難しいところでして、できる限り早期に業者の選定ができるように動いているところでございます。</p>
委員	<p>基本情報のところ、同じことを何回も記入するのは、結構辛いと思います。ちなみに、前回平成31年の回収率で、大阪府全体とか全国とか比較は出ていますか。能勢町は回収率が非常に高いイメージがありますが。</p>
事務局（福祉課）	<p>回収率については、府内のいくつかの自治体は把握しており、おおむね60%前後のところが多いものと認識しております。</p>
委員	<p>そんなにいくんですね。他市町村の調査は大体、送付対象児童を限定するような方法になるのでしょうか。</p>
事務局（福祉課）	<p>全体からの無作為抽出での送付や、施設を通じての送付、回収をされている等があるかと思われま。</p>
委員	<p>意外に他のところも高いんですね。ありがとうございます。</p>
会長	<p>今、委員がおっしゃっていただいたこと、本当にそのとおりだと思います。</p> <p>恐らく他市町村は無作為抽出なので、3人全員当たるとかはないかと思うんですが、能勢町は全数配布なので、本当に人数分来てしまうということが起こって回収率が下がるのではないかなと。</p> <p>せっかくしっかりと回答されたものが一つあって、他の二つも同じなのになって思いながら流されたのが、やっぱりゼロか、ちゃんと人数分あるかで違ってくるかなと思います。</p>
事務局（福祉課）	<p>例えば、放課後児童クラブの利用等についても、学年によって変わる項目はあるかと思しますので、必ずしも全ての項目を一緒にいう形に</p>

	<p>はできないと思いますが、家庭の状況であったり、変わらない項目も相当数あるかと思いますが、できる限り答えていただきやすいように工夫したいと思います。</p>
委員	<p>例えば、基本情報をまとめて書いていただいて、あとは児の数だけ入れるとかになるかと思われませんが、名前を書いてしまうといけないので、1番のお子さん、2番のお子さんみたいな感じで書けるようになる、確実に負担は減るんですけど、資料を作る側の準備が本当に大変なので、業者が対応してくれるかどうかだと思います。</p>
事務局（福祉課）	<p>その辺は恐らく業者の方も通し番号を振って対応できるかどうかになりますので、これからの相談にはなるかと思えます。 確かに、通し番号と情報を連携させることにすれば、省略できる部分はあると思いますので、手法の方は検討してまいります。</p>
会長	<p>問13の自由記載なんですけど、これはひな形に沿った感じなんでしょうか。私が思うに「どのようなものがあれば良い」だけだと、今ないものについて書くことになると思うんですけど、こんなことがあるから今すごく子育てしやすい、みたいな、実際に支えになってる内容を含むような記載があっても良いのかなと思います。</p>
事務局（福祉課）	<p>こちらについても、大阪府のひな形を参考にして入れている項目になります。スペースの都合もありますが、いただきました内容を参考にしていければと思います。</p>
会長	<p>次の6ページ以降、ここからは平日の定期的な教育保育事業の利用状況、病気の際の対応、平日の施設サービスというところになると思いますが、まずは問14が保護者の就労状況や帰宅時間など、フルタイムの希望があるかどうか、就労したいかどうかということ聞いていますが、答えにくそうなものがあればとか、何かあればまたご意見いただければと思います。 次の8ページが定期的に利用している保育所について伺いますということで、このこども園の色が潰れてしまっているのは、大丈夫でしょうか。</p>
事務局（福祉課）	<p>実際に送る調査票では、他の部分と同じように白抜きになりますが今回変更点というところで赤色にしており、白黒印刷したため少し見にくくなっております。ご了承ください。</p>
会長	<p>はい、了解いたしました。 続いて、問18が、お子さんが使っておられるサービス、定期的に利用されているかどうかということで、定期的に利用されていない場合、問18-1で利用していない理由、その下の問18-2が、利用されてい</p>

	<p>る方で何を利用しているのか、ここは番号に「○」を付けるということかと思いますが、この解釈が難しいかもしれません。</p> <p>「○」を付ける場所だけ独立している方が良いかと思います。</p>
事務局（福祉課）	<p>ご指摘いただきました問 18-2 の番号のところですが、どこに「○」を付けたらいいのか、分かりやすいように工夫をさせていただきます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。19 番以降は、病気になったときの対応ということで、病気で保育所等が利用できなかった場合、その際の対処方法、何日ぐらいあったかとありますが、これは去年 1 年間の合計日数を、休んだ日数を入れるということですかね。</p>
委員	<p>去年 1 年間で、保育所等を休んだ日数を正確に把握されている方はいらっしゃるのではないのでしょうか。</p>
事務局（福祉課）	<p>手帳などに記録されていて日数が分かればいいんですが、もし正確な日数が難しければ、おおよその日数で記載いただくことになるかと思われます。</p>
会長	<p>記載のうち「日数を（ ）内に記入」とありますが、この辺りに「おおよその日数で構いません」といった内容を、付記されていると良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>「※」印で「半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください」と書かれてあると、しっかりと正確な日数を書かないといけないのかと感じてしまいます。</p>
会長	<p>併せて問 19-1 の表についても、回答する場所が 2 か所になりますので、「○」を付ける場所など、回答するところについては分かりやすく改良する必要があると思います。</p> <p>続いて、問 19-2「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したいと思われましたか」ということで、病児保育を利用したいかどうか、というところですかね。この日数は保育施設を利用したい、と思った日数を記入するのでしょうか。</p>
事務局（福祉課）	<p>おっしゃるとおりです。したがって、病気のため休んだ際に全日利用したいという場合は、上と同じ日数を書いてもらうことになります。</p>
会長	<p>続いて問 19-3 が、利用する場合に望ましいサービスの種類で、能勢町での病後児保育室はいつから始まったんでしょうか。</p>
委員	<p>今年度から病後児保育が開始されましたね。</p>

会長	<p>それであれば、病後児保育室を知っているかどうかを聞く内容を入れてもいいかもしれません。当然、町の方で周知されているものとは思いますが。</p>
委員	<p>確か、町報で病後児保育の開始は掲載されていたはずですが。</p> <p>「病気の子どものための保育施設など」って書いてあるんですけど、「病後児保育など」ってカッコで例示を出してもいいような気がします。</p> <p>病後児保育の文言を入れて、ちなみに能勢町はいつから始めましたけど知ってますか、という設問を宣伝がてら、可能であれば入れた方が良さそうな気はします。</p>
会長	<p>あともう一つ利用の仕方がわからない、とかもあっていいのかもしれないなと思いました。</p> <p>能勢町の病後児保育室の利用に関して、利用するためのハードルが高くて利用できなかったという人とか、病院に行って診断書をもらってとか、そんなことできないって方がいるのかもしれないんですが、その辺りを選択肢に組み込んでみていいかもしれません。</p> <p>次の「利用したいとは思わない」の選択肢に記載があるので、大丈夫かもしれませんが。</p>
委員	<p>確かにそこに病後児保育の調査も入れてしまうと、余計ボリュームがアップしてしまうため、それはそれで具体的に利用された方とかにアンケートを取ってもいいのかもしれないので、一概に入れるのがいいとは言いきれないですね。ボリュームが増えてしまうことになりますので。</p>
事務局（福祉課）	<p>先ほどご意見のありました病後児保育を知っていますか、という項目であれば、恐らく「はい・いいえ」だけでも回答でき、それほどボリュームに影響はありませんので、この中のどこかで考えていきたいと思えます。</p>
会長	<p>病後児保育室は最近始まったものなので、いい機会かなと思います。</p> <p>会議の時間が押しすぎてしまい申し訳ございません。このペースですと、とてもじゃないけど終わりませんので、一度お持ち帰りいただき、ご意見がありましたら集約する形でもよろしいでしょうか。</p>
事務局（福祉課）	<p>調査票の発送が1月下旬から、2月初めを予定しておりますので、調査票の内容については、12月中を目途にまとめていきたいと考えております。今回お持ち帰りいただきまして、もしご意見等ありましたら事務局までご連絡いただき、全体的な修正内容を踏まえて検討してまいりたいと思えます。よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>少し細かく確認し過ぎてしまいまして、あっという間に時間が押し</p>

	<p>しまい申し訳ありませんでした。また、皆様の方で目を通していただきまして、設問の内容が答えにくそうであるとか、おかしな点等ありましたら、是非ご意見いただければと思います。</p> <p>その際は、また事務局までご連絡を入れていただければと思います。他に皆様の方から、何かご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>夏頃に大阪府のアンケートがありました。同じ年度に2回こういったアンケートが届くことは、保護者にとっては結構な負担ではないかと思えます。</p> <p>前回のものを2人分回答させていただきましたが、かなりのボリュームで読みにくい部分もあり、悩んで書いた記憶があります。今回もこれを拝見させていただいて、真面目に回答しようと思ったら本当に大変だと思いますので、アンケートの頻度として、せめて1年に1回としていただければ、保護者としてはありがたいところです。</p> <p>恐らく1年に2回あった、というのは今回が初めてだと思いますので、次から一定考慮いただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
事務局（福祉課）	<p>今回大阪府でも、平成28年以来の調査ということで、子どもの生活実態調査を6月に実施したところで、そこからまだ半年も経っていないタイミングでの調査となり、負担感というのは皆様感じられるところかなと思います。大変恐縮です。</p> <p>次回、大阪府がどのような形で実施するのかは未定ではありますが、一定配慮ができるのかどうか大阪府とも相談できればと考えております。</p>
会長	<p>できればたくさんの情報を取りたいという部分もある一方で、それよりも多くの方が回答していただくことが、より大事なかなと思います。</p> <p>これを回答できる方って結構エネルギーが必要で、なおかつそれだけの時間が確保できる方ってということになると、どんどん限られてしまうので、その結果、調査の価値が小さくなることになってはいけないかなと思います。</p> <p>改めて、設問の内容を見直して、本当に取る必要があるのか、1問でも2問でも削って差し支えないものがないのかどうか、事務局でももう1度見ていただければと思います。</p> <p>それでは、大変時間が押してしまって申し訳ありませんが、ニーズ調査についてご意見がありましたら、事務局の方へということをお願いしたいと思います。</p> <p>そしたら案件2にまいります。その他について何か皆さんの方からございますでしょうか？</p> <p>特にないようですので、事務局の方から何かございますでしょうか。</p>
事務局（福祉課）	<p>本日お配りさせていただいている参考資料の居場所づくり事業につ</p>

	<p>いて、申込みが今日までとなっておりますが、チラシを参考資料として添付しております。</p> <p>これを能勢ささゆり学園の1年生から6年生までのご家庭にお配りして、順次申込みをいただいている状況です。裏面は、町内の社会福祉施設にありますフリースペースをご案内させていただいております。</p> <p>また、次回の予定について、今後のニーズ調査が1月末から2月上旬位にかけての時期で予定していますので、今年度3回目の会議を、3月中に実施できればと考えております。また日程の調整等させていただきますので、お願いいたします。</p> <p>先に実施しております、子どもの生活実態調査の結果につきましては、集計結果が少々遅れており、今回お示しができておりませんが、次回にある程度、お示しできればと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他に特に追加ございませんでしょうか？</p> <p>それでは、他にないようですので閉会に当たりまして、副会長よりご挨拶をお願いしたいと思います。</p>
副会長	<p>失礼いたします。</p> <p>今回の資料を見せていただいて、本当に端から端まで見ると頭がフラットになるような感じで、本当に一生懸命答えると時間も気力もかかるというところで、どれだけの人が答えていただけるのかなと感じたところです。</p> <p>それから私もいろんな就学前の子どもたちの保護者に会うことが多いので、そういうところで保護者の皆さんにもアンケートにご協力いただけるような言葉掛けができればと思います。</p> <p>他の皆さんにも声掛けの方をさせていただいて、なるべくたくさんの人から、いい意見が集まっていい計画ができればと思いますのでよろしくお願い致します。今日はありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、本日の会議はこれで終了いたします。皆様、ご多忙の中、お集まりいただきありがとうございました。気を付けてお帰りください。</p>
	15:00 閉会